

令和2年11月発行 発行者：砺波カイニヨ倶楽部 代表幹事：高畑邦男 事務局：砺波市表町14-10
電話090-9444-8655

皆様、コロナ禍で大変な日々を過ごしておられると思います。あと少しでワクチンも出来るようです。がんばりましょう。

● 会員の方々からのご意見に関し ●

前回、皆様からどのような事でもご意見を頂きたく葉書を同封いたしました、ところ、数名からのご意見がありましたのでお知らせし、それについて述べさせていただきます。

◎「ご意見——カイニヨは、一人では、守れない」

カイニヨを守り育てる事の難しさを、つくづく思います。時代が変わりカイニヨが生活必需品であった時代から、スイッチ一つで生活できるようになりました。家族も核家族となりその中で、カイニヨを後世に残す事は、非常に大変な事です。一人では、守れない。そこで、「グループを構成し助け合ってカイニヨの維持管理をする」ご提案がございました。

会員以外も含めグループを作ること大賛成です。残念ながら倶楽部ではわからない・知らない事も沢山あると思います。カイニヨの無い方も参加されると思います。応援・協力させていただきます。なお、倶楽部行事で掃除を行っていますが、会員より自宅の掃除のお願いは出来づらいものと思います。遠慮されず、まずは「掃除お願い」と連絡下さい。毎年でもかまいませんよ。

また、砺波市では、散居景観保全事業（高木）散居景観モデル事業（中低木）による支援もあります。

◎「ご意見——カイニヨ(屋敷林)を身近に親しみ、学ぶ機会を設けては如何」

昨年、砺波市屋敷林保全管理検討会では、カイニヨ体験ツアーを行っています。園児から6年生と保護者、7組22名が参加し、遊びを通して散居の緑に触れています。ゲームとして、第1部体力に挑戦、おやつタイム（当倶楽部協力で焼芋・蒸ジャガ・蒸トウモロコシ）を挟んで第2部知力に挑戦、水鉄砲を作り水の掛け合い（本当に楽しく遊びました）など。

現在、次の世代が、カイニヨで過ごすことが最も大切な事と考えています。体験行事の主催や協力をしたいです。以前、見学会で、カイニヨ内の生き物を学んだことがありました（故 林梅夫先生宅にて）。お母さんと子供達が参加し、多種の生き物を目の前に目を丸くし驚きと感動があふれていました。カイニヨへ入りで学ぶことでカイニヨの大きさ・深さ・凄さなどを感性で感じると共に大切さを知る機会でもあります。また、7-8年前にKNBの番組で「散居村 カイニヨのある暮らし」が放送されました。子供の生き生きした姿を観ることができます。（10分程度に編集） 視聴されたい方は、事務局へ連絡下さい。

◎「ご意見——今、考えるべき大きな課題。剪定材・落葉の後処理は、 循環型のシステムを目指すべき（資源としての再利用）」

剪定材・落葉は、昔は、大切な資源でした。しかし、近年生活様式の変化により、ゴミ扱われています。

一部では循環型として堆肥・固形燃料（ペレット）に加工され、ペレット用ストーブと共にホームセンターで販売されていますが、需要の伸びが鈍いです。このストーブは、背中のタンクにペレットを入れ、着火も自動で、ファンヒーターと同じ様に操作は簡単ですよ。

化石燃料や電気の利用がコスト安で一般的です。しかし、CO₂や発電問題とエネルギー自給を考えると環境にやさしく少しでも地産とすべきでしょう。残念ながら南砺市では、ペレット事業の補助金減額を検討されるようです。ペレット需要を増やそうではありませんか。まずは、新規の設備費用が掛かるため、地域の公民館はじめ公的施設で消費拡大に務めることから始めては如何でしょう。

当然、カイニヨを、`公`の環境合意形成を共有していかねばならないことですが。

◎「**ご意見——落葉でお隣さんからのクレームでの悩み**」

落葉は、落葉樹だけでなく常緑樹も葉を落とします。樹木が成長する過程でしなくてはならない大切な仕事です。しかし、現実には現実として、お隣さんと仲良くしましょう。

樹木は切っても、また、植えればいいのではないのでしょうか。カイニヨも同じでしょう。

◎「**ご意見——私のカイニヨへの思いですが、カイニヨの中の宇宙、心の癒し、自然を守ってほしい、カイニヨの中にもっとカシコクなれる、セコセコ考えるな、人のことを思いやる、植物や生物に愛情を、と教えてくれる最高の場所だと私は、思っています**」

私も同感です。とても嬉しいです。

◎「**ご意見——剪定材等の無料化について**」

今年度から砺波市では実証試験に剪定枝戸別回収が行われています。カイニヨの維持・管理として軽トラ1台(300kg)、運搬処分費で3000円、年2回までです。今後この様な対応策が拡大し無償化の方向に進むようになってほしいです。

その為には、この制度を沢山利用しましょう。

◎「**ご意見——カイニヨの絵画巡回は**」

学校への「散居村」の絵画巡回は、現在4校目に入っています。鷹栖小学校→東部小学校→庄西中学校→出町小学校、年内にあと1校予定しています。子供たちの眼差しは、将来の砺波平野の散居村やカイニヨに少しは向いたと思います。

◎「**ご意見——野焼き問題についての動きを会報に**」

カイニヨお手入れ支援隊が警察と協議(支援隊代表松田憲氏、有志出村忍、小幡良和以上3名)されました。其の時の状況が全会員に報告されています。改めて会より報告する必要はないと考えています。

※ **今年2月に 砺波市農地林務課と打合せ**

- ・ **意見**——令和元年7月に提出した「野焼きに関する申し入れ書：主旨は枝葉の野焼きが出来るように、のお願い」についてと、当市の考えを聞かせて下さい。
- ・ **回答**——野焼きの禁止は、環境保全の基本であり、大前提であります。「たき火程度は例外」といっても、その程度はあいまいで定義づけは、難しいです。市としては、今後野焼きは出来ないものと考えています。これに対応する処置として、高齢者宅における剪定枝および小枝のついたスンバの回収支援態勢を整えるため検討中であり、ます。なお、回収の需要や量を検証して次のステップへ進む予定です。

上記の考えにて実証試験(剪定枝戸別回収)等が計画されたと思います。前進です。

・会報はA4サイズとさせていただきます。

●元会員の氷見長徳さんの題名「散居村」の絵画が、 砺波市内小中学校を巡回展示




鷹栖小学校：児童が興味深く見ている

子供の時こそ、郷土の特徴を知り、自然との共生を学ぶ。田んぼや家とカイニョが一体になった絵から学ぶ。

8月に鷹栖小学校をスタートし、東部小学校、庄西中学校、11月は出町小学校です。今後も巡回展示します。

(巡回後は、散居村ミュージアムに展示)

東部小学校だよりに、井澤校長先生の児童と自然とカイニョに関する思いが記載されています。一部抜粋し、感謝いたします。

	砺波東部小学校 学校だより	令和2年9月23日
9月号	東部	第586号

地域の自然とともに育つ東部っ子

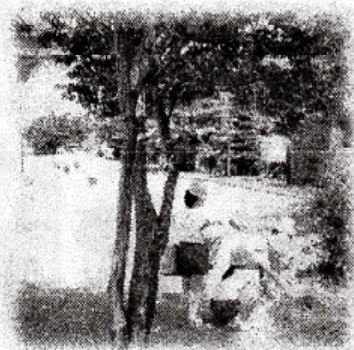
校長 井澤 清徳

東部っ子のお気に入りの場所のひとつに本校のビオトープがあります。そこには、カエルやメダカ、トンボやタガメ等、多くの小動物や昆虫が生息しています。

「ほら、ミズカマキリ」

今日も3年生の子供たちが、理科の時間に観察を行い、捕まえた生き物を私に見せてくれました。自然や生き物には子供たちを引きつける何かがあるようです。

自然は子供の発育にとっても大きな影響を及ぼすことが、専門家たちによって明らかになっています。自然とのふれ合いは、子供の学習能力、創造力を高め、心を健全に保つことが示されています。すべてがお膳立てされているゲームのような遊びとは異なり、自然の中の活動は、問題解決力、集中力、自制心の発達にも役立つとのこと。また、協調性や柔軟性が向上するため、まわりの人とうまく付き合えるようになり、社会的にも意味のあることだそうです。



〈 ビオトープを調べる子供たち 〉

先日、砺波地区の屋敷林「カイニョ」を守る活動を続けておられる地域の方が来校され、「家は子供を育てるための道具。私たちは自宅のカイニョで虫や小動物を捕まえ、命を学んだ。地域の子供たちには、ぜひ自然からたくさんのことを学んでほしい」と熱く話されました。本校にカイニョはありませんが、学校の畑やビオトープをはじめ、周囲に多くの自然があります。生き物がいます。何より、全校児童が徒歩で通学しており、その日の天候や暑さ寒さを含め、直に地域の自然にふれ合います。

短い夏休みの後、8月、9月と暑い日が続いていますが、みんなで登下校する子供たち。地域や自然にふれ合いながら、心身の成長を見せる東部っ子を頼もしく感じます。

●クイズに関して●

郷土の事を知ることが大切です。子供から年配者が自身を持って郷土を語れると、砺波平野がもっと豊かになるでしょう。

その為にクイズを提案しました。

●現在までの問い合わせです。(隣の、おばちゃんからも、ありました)

■散居村について

- ・日本の散居村はどこにありますか？
- ・散居村はみな同じですか？
- ・散居村の成り立ちは？
- ・散居村は広さは？
- ・散居村は家の数は（何戸？）
- ・散居村の家の周りに何があるか？
- ・家の周りに田んぼがある理由は？
- ・散居村の良いところ？
- ・散居村の悪いところ？
- ・散居村の便利なところ？
- ・散居村の不便なところ？
- ・散居村は、泥棒が多いか少ないか？
- ・散居村は、交通事故が多いか少ないか？
- ・散居村は、川が多いか少ないか？
- ・散居村の川は、流れが速いか遅いか？
- ・散居村は、道の長さが長いか短いか？
- ・散居村の隣は近いか遠いか？
- ・散居村の家の多くはどこ方向を向いているか？
- ・散居村はの家の玄関は東・西・南・北のどの向きが多いか？
- ・散居村の屋敷の周りに小川があるか無いか？

■カイニョについて

- ・「カイニョ」の名前の由来は？
- ・東北地方の「イグネ」と違うのか？
- ・風や雪から家を守るために植えられた木々は？
- ・これから植えるとすれば、どんな木々をどの様に植樹？
- ・CO₂について？
- ・カイニョとは何ですか？

- ・カイニヨは何時出来たのですか？
- ・昔からのカイニヨの役割は何ですか？
- ・今のカイニヨの役割は？
- ・カイニヨで良いことは？
- ・カイニヨで悪いことは？
- ・これからカイニヨは必要ですか？

- ・樹木の高さの種類は？
- ・カイニヨにある樹木の種類は？
- ・カイニヨの花木は？
- ・カイニヨの中で食料となる樹木は？
- ・スンバとコッサとは？
- ・カイニヨで作ったもの何ですか？
- ・カイニヨで薬草は？
- ・カイニヨの中の昆虫や動物は？
- ・カイニヨは何故必要ですか？

■屋敷

- ・屋敷敷地の広さはどのくらいですか？

■伝統家屋（瓦葺き）

- ・伝統家屋の特徴は？
- ・伝統家屋は2階建てですか？
- ・伝統家屋の2階の用途は？
- ・伝統家屋は大きいですか小さいですか？
- ・家の広さはどのくらいですか？
- ・家は瓦屋根ですか？
- ・家はマエナガレ・アズマダチですか？
- ・家の真ん中に大きな梁がありますが？
- ・家の真ん中に太い柱や梁で出来た部屋がありますが、なんですか？
- ・枠の内とは何ですか？
- ・家の南側の和室に仏壇がありますか？
- ・伝統の家は、誰が建てたのですか？
- ・伝統の家の便利なところは？
- ・伝統の家の不便なところは？
- ・伝統の家は、お金がいるのですか？
- ・伝統の家はどんな家ですか？

■役員会の報告と倶楽部の流れ■

会報 96号

■開催日:7月14日 場所:となみ学び館部

○議題内容と報告・意見等

1. カイニヨ掃除 (予定:戸出の野原宅) (報告事項)
(コロナで掃除が難しいです)
2. カイニヨ見学会 (未定) (報告事項)
(コロナで見学会が難しいです)
3. カイニヨ・散居村の啓発活動 クイズ (報告事項)
(現在、質問が届いています。資料館とミュージアムへ協力依頼済みです)
4. 子供たちにカイニヨの良さを伝える取り組み (報告事項)
(コロナで人が集まること難しいですが、カイニヨに関する氷見さんの絵画「散居村」を学校に、巡回展示 - - - OK)
5. 野焼きについて (報告・協議事項)
 - ①野焼きが出来ないとカイニヨは残らない。
 - ②昔からの伝統、風物である。
 - ③取り締まりが厳しい。枝葉の軽微は良いはずだ。
 - ④現在までに私に入っている情報は、
「野焼きでゴミを一緒に燃している。管理者がいない。消火体制も無い」です。
この様な状況は危険です。20年頃前小矢部で散居村の大火災もありました。
又、煙で交通に影響を与えています。
これらは市民レベルの問題で、他の組織の問題ではない。
 - ⑤ゴミの野焼きは禁止です。燃料ならば野焼きルールから外れるのでは。
6. 倶楽部の活動運営について (ご意見を是非お願いします)
7. 「カイニヨについての発表・意見交換会」の開催提案
市民オープン、参加者20人でもOKでしょう。屋内外でも、
「カイニヨは必要か。カイニヨの役割は。どうすればカイニヨは残るのか。
カイニヨの問題は・・・」など
多くの事柄を市民で話し合う場を設ける事も倶楽部の役割と思います。
驚く考えを持っている方がおられると思いますので、聞きませんか？

■7月31日

コロナ禍の状況で、役員各位に、倶楽部活動について文書で意見を求めた結果、
「密を避けて行えばよい」との意見もありましたが、感染者が出た場合を考慮し、
活動自粛を決定し皆様へお知らせいたしました。

■開催日:9月29日 場所:となみ学び館

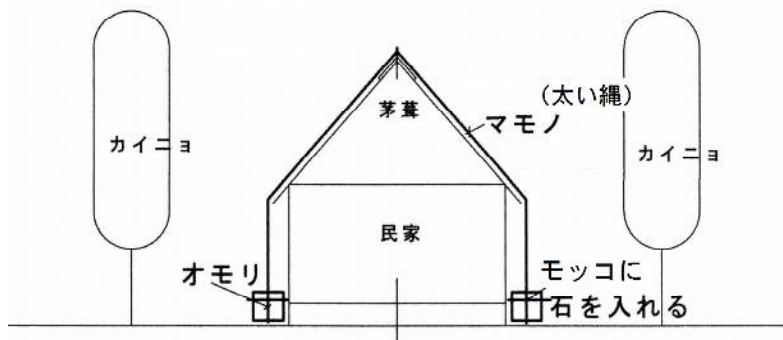
○議題内容と報告・意見等

1. 氷見さんの絵画の巡回展示について（報告事項）
8月は、鷹栖小学校にて。9月東部小学校にて。10月は、庄西中学校
2. 会員の皆さんからの（8月11日付）ご意見について（協議事項）
役員の方々より後日意見募集し、会員へ報告する。
3. 野焼きにつて（協議事項）
カイニヨ支援隊と警察との協議について
・協議内容をわかりやすく会報にてお送りしては如何？。
・後日、代表幹事は支援隊より会員にすでに説明文が発送されているので倶楽部としては扱わない。と判断された。
4. 散居村・カイニヨ クイズについて（協議事項）
・現在、疑問点やクイズ内容などを募集中。
・どの様な形式のクイズ（範囲も含め）が良いか、検討を要す。
5. 実証試験（剪定枝戸別回収）について（報告と協議事項）
・内容説明
・事業内容に関し、倶楽部として良き提案をすべきではないか。
6. カイニヨについての現状や思い等の発表・討論会の開催提案（前回の役員会でも）
「となみ野住民は、散居村・カイニヨに多くの思い・悩みを抱いて おられるに違いありません。一度、大きく吐き出して頂く機会を設け、皆さん安心されることもあるでしょうし、内容に添って、倶楽部活動を考える必要があるようにも思う」
との意見。
7. 富山県民生涯学習カレッジ（報告事項）
富山県民生涯学習団体協議会 県民カレッジ友の会からの案内
①第32回県民カレッジ学遊祭の開催について（案内）
②「県民カレッジ 人生100年時代生き方講座」について
8. 富山県民生涯学習団体協議会より（報告事項）
①生涯学習団体表彰に当倶楽部が推薦されている
9. 山之内静香さんが入会され、小幡良和さんより退会されました。（報告事項）

●マモノ（屋根掛け縄）

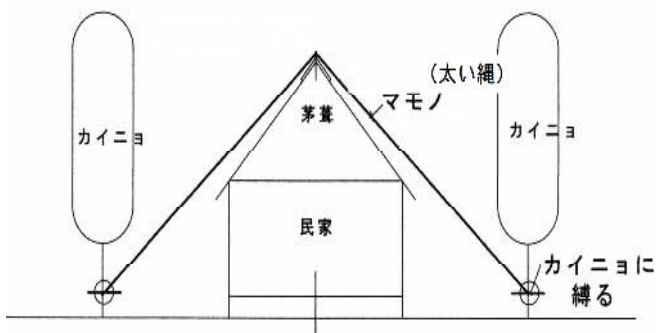
2018平成30年10月13日
砺波郷土資料館分室砺波民具展示室にて
天野一男

- 名称：マモノ（太縄）
- 目的：茅葺き屋根が風で破壊しないための用具
- 場所：庄川五ヶ屋にて使用（呼び名）屋根掛け縄
- 仕様：長さ：28.8m。外周：16cm。重さ：12kg。



太い縄を屋根をまたぐように掛け、石の重さで破損を防いだ。

モッコに石を入れ、おもりとした。



カイニヨ苑

砺波市荒高屋地区や小杉地区では、おもりの代わりに、カイニヨに縛った。

●カイニヨの大きな役割であった●

「出雲(斐川)平野の散居村と築地松」

(砺波平野の散居村と比較)

原稿:K・T・K・A

見学日:2016年平成28年5月15・16日

砺波平野の散居村やカイニヨを知るに他地域を知る事も大切です。築地松で有名な出雲(斐川)の散居村を見学しました。

● 出雲は、なぜ散居村なのか？

理由は、大きくは宍道湖の干拓・埋め立にある。(佐賀県南部の有明海沿岸福富地区も同様である)

干拓・埋め立て地は水平で平坦です。そして砂地です。この地形で水稻栽培の用水・排水の確

保は難しく、保水力の低い砂地に、保水力の高い土を入れ保水性を確保し畑地にしました。

逆に雨水等は農地に溜まり排水できず、ため池を設け、高畝式(たかうねしき)で作物を育てた様です。また、水が必要な時は、ため池より人力(足踏み水車等)で確保したようです。

砺波平野は、庄川の扇状地で土地に勾配があることで、用水を張り巡らせることが出来、水稻栽培が可能であった。しかし、砂利地盤で水の保水力が弱く、水管理の為、散居村に。

出雲平野では、干拓地の農地が増え作業が大変で、その場で生活するようになり散居村になったようです。

築地松の目的は防風ではない。建物地盤の土固めである。

家を建てるに盛り土をする。この地方で盛り土を「築地:ツイジ」と言う。砂混じりの土の為崩れ、防止に樹木を植えた事が始まりのようだ。多種の樹木を植えたが現在のマツ(築地松)が残った。この松は枝を50%まで落とす必要がある。理由は、地盤が軟らかいので風圧で倒木するのである。その職人は数人になった。よって、築地松を残すことが大変で、今後景観も大きく変わるか。

カイニヨは、以前は数列に植えられ数十年サイクルで伐採し利用すると同時に植樹した。成長と伐採サイクルがあった。しかし、現在は1列程度を残し伐採され、根が広がる広葉樹までも切った。よって、風に非常に弱い状況である。対策は、高木は伐採。高さを押さえると共に植樹する。数十年で安定したカイニヨが出来る。その際、建物が大きくなり植える場所が狭い場合、敷地を増やす必要もある。

この様に、自然の地形に生活する砺波平野の散居村と人工的土地に生活する出雲の散居村がある。又、家を囲む樹木も砺波のカイニヨは防風林だが、築地松は土留めで、風を通す為、職人費用がかかっている。

2地域共、毎年家々が減る。生きてきた結果出来た景観で、生活の為の収入が必要である。



松等には最適。葉の表面積の小さな樹木。
 松は大きい。 松以外に樹木は無いようだ。
 枝の剪定は50%で、風圧が大きいと倒木する。



建物と築地松の距離が狭い。

理由は、建物が大きくなった。(砺波も同じ)
 枝は建物側が無い。宅地内の地盤は砂地。庭は枯山水



樹齢200年以上



道路が、家々に接している。

砺波のように、各家への進入路(ジョウグチ)が無い。

道路と田と宅地のレベル差が少ない所がある。

中には、同じ高さもある。

砺波では家は田んぼに建つ。出雲は道路に接して建つ。

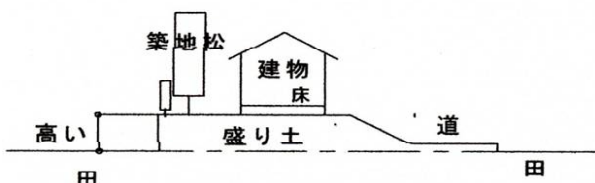


築地松の足下に、生け垣がある。

築地(盛り土)の崩れ防止。

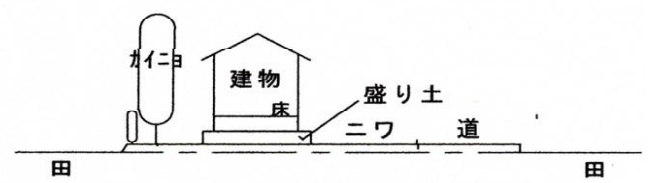
道は、未舗装で、砺波では見られない。

●出雲と砺波の田と屋敷・住居の違い



・敷地全体を盛り土(築地)。

「出雲(斐川平野)」



・敷地全体は田より少し高い。

・建物部分を盛り土。

「砺波平野」

● 出雲(斐川)の散居村・築地松と砺波の散居村・カイニヨとの比較 ● 「農業で生きる」

出雲(斐川)平野 旧斐川町

- 散居村
- 地形
 - 宍道湖の干拓地(出雲平野の中央部)
 - 流れの緩い斐伊川(ひいかわ)の扇状地
- 地盤 - 砂地(斐川の中州は砂)
 - 砂地に、粘土質の土を搬入
 - 土地勾配が非常に緩い
- 保水力 - 弱い
- 用水路 - 確保出来ない
- 排水路 - 確保出来ない
- 流水客土は勾配がないので難しい
 - 人力で客土を?
- 農地の種類 - 畑地
- 農作方法 - 高畝式
- 作物の種類 - 野菜等
- 農作業と水管理の為、農地の中に家を設ける
 - その結果、散居村に

■ 築地松

- 築地松 - 目的
 - 家の盛り土の崩壊防止に樹木を植えた
 - (築地とは、家の盛り土のこと)
- 樹木の種類 - 昔は、多種。しかし、松が残った
 - 見学した松は、200年
- 問題点 - 松食虫。風の倒木。
 - 剪定職人が少なく、後継者を育てる
- ◎ 維持管理 - 消毒。
 - 枝を50%に絶対剪定必要。

- 補助 - 消毒・剪定に自治体の補助
- 保存方法 - 剪定者の後継者づくり

● 新しい 築地松の役割

1. 綺麗な景観保全

砺波平野

- 散居村
- 地形
 - 急流庄川の扇状地(海まで20-30キロ)
- 地盤 - 石や砂利(庄川の中州は石や砂利)
 - 勾配が強い
- 保水力 - 弱い
- 用水路 - 確保が容易
- 排水路 - 確保が容易
- 流水客土 - 保水力確保の為、行った
 - 山から泥を用水に流す。ポンプ式も
- 農地の種類 - 水田
- 農地は表土が浅い
- 作物の種類 - 米
- 水管理の為、家の周りに農地を設ける
 - その結果、散居村に

■ カイニヨ

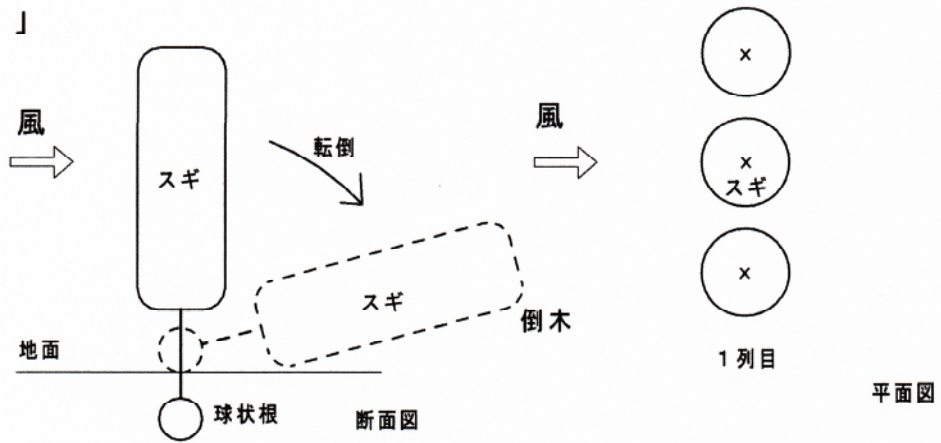
- カイニヨ - 今までの目的
 - 防風林・燃料・建築資材・食料
- 樹木の種類 - スギが主。ケヤキも。果樹
- 問題点 - 枝葉がゴミ。風の倒木
- 維持管理 - 落ち葉・枝の掃除。
 - 風圧を少なくするため、枝落とし
- 補助 - 枝落とし等に、自治体の補助あり
- 保存方法 - 落ち葉・枝の再利用
 - 植樹(倒木防止)カイニヨの層が薄い。
 - ケヤキ等の根が広がる樹木を植える
 - 昔のカイニヨを造る

● 新しい カイニヨの役割

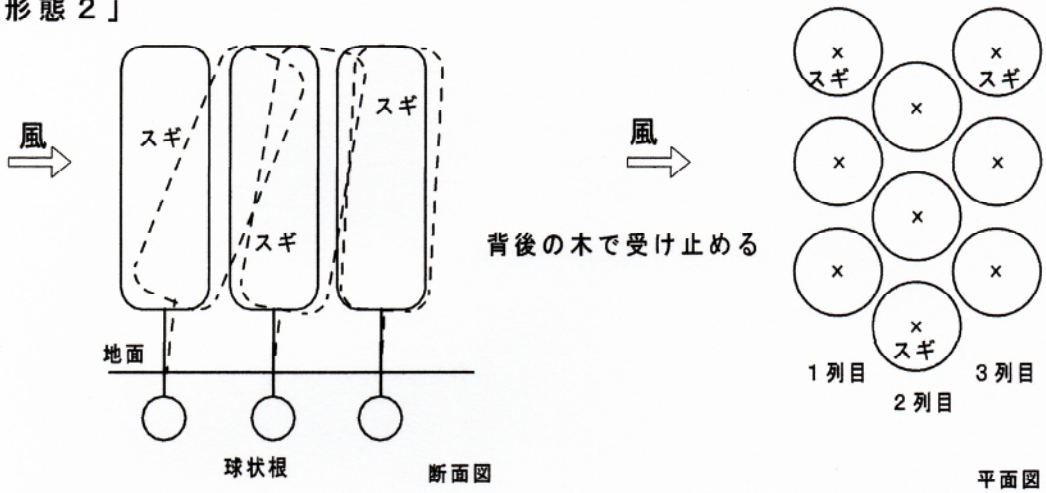
1. 次の世代への情操教育に最高の空間
- 多種類の生き物が生息し、生死のドラマがある
2. 生きるための教科書。知恵の宝庫
3. 資源(剪定・落ち葉の利用)
4. CO2の吸収。 5. 景観保全

■ 今後の倒木対策（植樹形態） ■

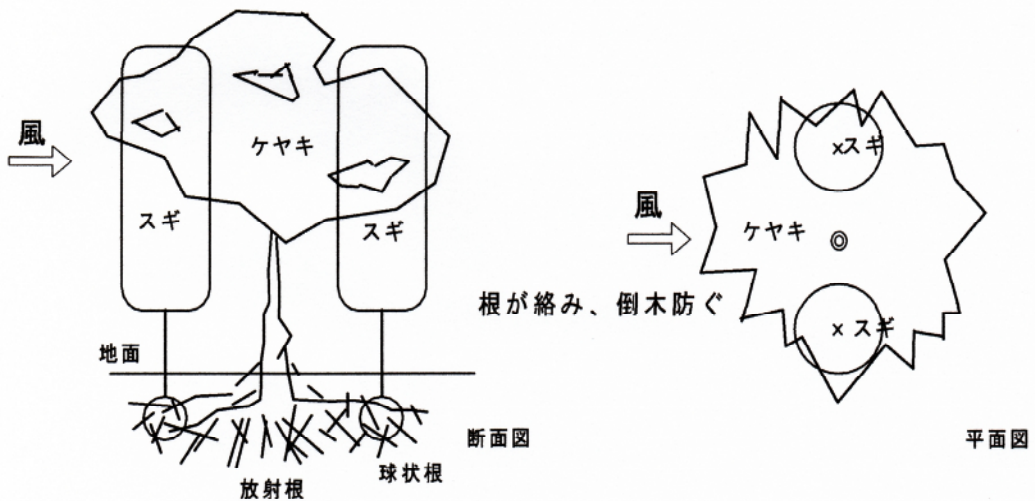
「形態1」



「形態2」



「形態3」



● 説明

現在の状況は、形態1で倒木しやすい。

形態2・3であれば、倒木しにくく、この形態は、昔の形態である。

よって、形態2・3の状態に植樹すること。

枝葉の固形燃料化の流れ

